

金日成

著作集

金日成

著作集

11

(1957年1月~1957年12月)

朝鮮・平壤

外国文出版社

1982

『金日成著作集』第十一卷の解題

『金日成著作集』第十一卷には、一九五七年一月から同年十二月にかけて金日成主席がおこなった報告、演説、談話など二十九件の歴史的著作が収録されている。

第十一巻が包括する時期は、主席の賢明な指導のもとに、朝鮮で生産関係の社会主義的改造を一日も早く早く完遂して先進的な社会主義制度を樹立するためのたたかいが力強く展開されていた偉大な歴史的変革の時期であり、朝鮮革命の主体的力量をうちかため、千里馬チリマを駆ける勢いで第一次五か年計画初年度の課題遂行に取り組んでいた創造と建設の時期である。

本巻には、主席がこの壮大な歴史的時期に、朝鮮革命発展の要請を洞察し、革命闘争と建設事業の促進のためにうちだした卓越した思想と理論、独創的な路線と方針、その実現をめざすたたかいでおさめた貴い成果と経験が全面的に集大成されている。

ここには、朝鮮で生産関係の社会主義的改造の歴史的大業を一日も早く完遂する必要性と意義、社会主義的改造を勝利のうちに完成するために堅持すべき基本原則と戦略的・戦術的方針が全面的に明示されている。

また、都市と農村で生産関係の社会主義的改造を完成するため、広範な大衆のあいだで思想教育を強化するとともに、すでに組織された協同経営の優位性を実物をもって示すことにより、まだ協同組合に包括されていない人びとをも、自発的に組合に加入するようしむける方針、労働者階級の党と国家が、すでに組織された協同組合の物質

的・技術的基盤をかため、協同組合の管理運営を改善するよう積極的な指導と援助を与える方針をはじめ、生産関係の社会主義的改造を成功裏に完成するために提起される諸問題が科学的に解明されている。

本巻には、革命の参謀部である党を組織的、思想的に強化し、その戦闘力を強め、革命と建設にたいする党の指導的役割を強化するための主体的な党建設理論と方針が示されている。

ここには、党隊列をかため、党員の党生活を強化し、その前衛的役割を高める方針、すべての党員が党に限りなく忠実で、党中央のまわりに一つの思想、一つの意志で団結し、セクト主義、地方主義、家族主義などさまざまな偏向と妥協することなくたたかうよう、かれらの党性をたえず鍛える方針、行政・経済活動にたいする党の指導をあくまで政治的指導、政策的指導にかえる方針をはじめ労働者階級の党建設と党活動において堅持すべき重要な原則的問題が具体的に示されている。

また、社会主義建設の強力な武器である人民政権の機能と役割を高め、変化する新しい環境に即応して人民政権機関の活動体系と活動方法をたえず改善する革命的な方針が提示されている。

ここには、経営形態の社会主義的改造で決定的な勝利がもたらされている新しい環境のもとで、人民政権機関が人民経済のすべての部門を統一的に掌握、統制し、計画的に発展させる方針をはじめ、政権機関の活動家が官僚主義を一掃して人民大衆との結びつきを強め、広範な大衆のあいだで社会主義的民主主義を高度に発揚させる問題など、人民政権の遂行すべき使命と任務、その遂行方途が明らかにされている。

また、社会主義経済建設において重工業を優先的に発展させながら、同時に軽工業と農業を発展させる党の経済建設の基本路線を貫徹して経済基盤の構築と人民生活の問題を同時に解決し、すべての予備と可能性を引き出して経済発展の速いテンポをひきつつき保つ問題など、社会主義の物質的・技術的基盤をきずく総体的方向と原則的方途が提示されている。

著作集第十一卷にはこのほかにも、朝鮮労働党が一貫して堅持しているもつとも合理的かつ公平正大な祖国統一方針、新しい情勢に対応して人民軍の戦闘力と戦闘準備をあらゆる面から強化する方針、社会主義諸国の統一団結と国際共産主義運動の新たな発展をめざす党の自主的な対外政策など、革命闘争と建設事業において提起される理論的・実践的問題に完璧な回答を与える卓越した思想と方針が全面的に提示されている。

外国文出版社

一九八二年四月

目次

今後の農業発展のいくつかの問題について

——平安南道農業協同組合管理幹部会議でおこなった演説——

(一九五七年一月二十一日) …………… 一

一 灌漑施設の拡張について …………… 四

二 先進技術を積極的に導入、普及し、ヘクタール当たりの

収量を高めるために …………… 二〇

三 農業協同組合の強化について …………… 二八

農業協同組合の強化のために

——平安南道肅川郡農業協同組合活動者会議でおこなった演説——

(一九五七年一月二十八日) …………… 三

商品流通の改善のために

——全国商業部門活動者会議でおこなった演説——

(一九五七年二月十四日) …………… 四

第一次五か年計画期間における農業部門の中心課題について

—— 農業部門幹部との談話 ——

(一九五七年三月八日) …………… 丙

咸鏡南道党組織の課題

—— 咸鏡南道の党・政権・経済機関および大衆団体の活動家におこなった演説 ——

おこなった演説 ——

(一九五七年三月二十六日) …………… 丁

- 一 工業について …………… 己
- 二 水産業について …………… 庚
- 三 農業について …………… 辛
- 四 農村と郡機関所在地の建設について …………… 壬
- 五 地方政権機関の活動について …………… 癸
- 六 党活動について …………… 甲

三か年人民経済計画の実行総括を正しくおこなうために

—— 朝鮮民主主義人民共和国内閣第三回全員会議での結語 ——

(一九五七年四月六日) …………… 乙

水産業の発展のために

—— 朝鮮労働党中央委員会総会での結語 ——

(一九五七年四月十九日) 九

石炭は工業の食糧である

—— 北部地区炭鉱部門活動者協議会でおこなった演説 ——

(一九五七年五月十日) 二五

第一次五年人民経済計画遂行における咸鏡北道の課題について

—— 咸鏡北道の党および政権機関、大衆団体の活動家におこなった演説 ——

(一九五七年五月十一日) 三三

一 工業について	二五
二 都市経営について	二四
三 農業について	二六
四 水産業について	二四
五 鉄道運輸について	二四

六 党活動について 一四四

七 人民委員会の活動について 一四六

鉄道運輸部門で規律と秩序を確立しよう

——清津鉄道管理局従業員におこなった演説——

(一九五七年五月十二日) 一四〇

党組織を強化し、党の経済政策を貫くために

——道・市・郡党活動家と党オルグにおこなった演説——

(一九五七年七月五日) 一三九

一 党活動について 一三九

二 工業建設にたいする党の指導 一四〇

三 農業にたいする党の指導 一七一

新しい環境にふさわしく郡人民委員会の活動を改善するために

——道・市・郡人民委員会委員長講習会でおこなった演説——

(一九五七年七月十二日) 一三八

一	新しい環境にふさわしく郡人民委員会の活動体系と活動方法を改めるために	一八
二	農村における搾取行為を一掃することについて	一八
三	農業協同組合の強化について	一九
四	教育事業と保健医療事業にたいする指導を強化し、農村建設をりっぱにおこなうことについて	三〇
五	人民政権機関の強化について	三〇

貨幣流通と穀物加工を改善するために

——朝鮮民主主義人民共和国内閣常務会議での結語——

(一九五七年七月二十七日)	三〇
---------------	----

文徳選挙区の有権者におこなった演説

(一九五七年八月二日)	三七
-------------	----

南浦製錬所亜鉛精錬職場の操業式でおこなった激励の辞

(一九五七年八月十日)	三五
-------------	----

松都政治経済大学第一回卒業式でおこなった演説

(一九五七年八月二十五日)

…………… 二四

党の建設政策を貫徹するための問題について

—— 朝鮮民主主義人民共和国内閣常務会議での結語 ——

(一九五七年八月二十六日)

…………… 二五

機械工業の発展は五か年計画を成功裏に遂行する鍵である

—— 機械工業部門全国活動者会議でおこなった演説 ——

(一九五七年九月十一日)

…………… 二六

社会主義建設における人民政権の当面の課題について

—— 最高人民会議第二期第一回会議でおこなった演説 ——

(一九五七年九月二十日)

…………… 二七

閣僚の責任感と役割を高めることについて

—— 朝鮮民主主義人民共和国内閣第一回全員会議での結語 ——

(一九五七年九月二十三日)

…………… 二八

一 閣僚の責任感と役割を高めることについて 二五

二 第一次五年計画を完遂するために 三〇

建設分野で党の政策を貫くために

——朝鮮労働党中央委員会総会での結語——

(一九五七年十月十九日) 三五

偉大な十月の思想は勝利している

——十月社会主義大革命四十周年に際して発表した論文——

(一九五七年十月二十二日) 三三

社会主義諸国の親善と団結

——ソ連誌「メシドナロードナヤ・シーズン」

一九五七年十一月号に発表した論文—— 三三

祖国統一問題と人民軍の課題

——朝鮮人民軍軍事・政治幹部会議でおこなった演説——

(一九五七年十一月二十七日) 三五

一 祖國統一問題について 三五

二 人民軍の課題について 三一

社会主義陣營の統一と国際共産主義運動の新たな段階

——朝鮮労働党中央委員会拡大総会でおこなった報告——

(一九五七年十二月五日) 三六

仲裁活動の強化について

——司法省の責任幹部との談話——

(一九五七年十二月八日) 三五

農業の社会主義的改造でおさめた勝利をかためるために

——黄海南道農業協同組合活動者会議でおこなった演説——

(一九五七年十二月十三日) 三九

一 農業協同組合を経済的に強化するために 三九

二 農業協同組合を政治的に強化するために 四〇

農業協同組合を政治的、経済的に強化するために

—— 黄海北道農業協同組合活動者会議でおこなった演説 ——

(一九五七年十二月二十日) …………… 四二四

黄海製鉄所の幹部および模範労働者との談話

(一九五七年十二月二十五日) …………… 四三三

今後の農業発展のいくつかの問題について

—— 平安南道農業協同組合管理幹部会議でおこなった演説 ——

(一九五七年一月二十一日)

みなさん！

われわれがつねに強調しているように、農業の発展は人民経済全般の発展と人民生活の改善にとってきわめて重要であります。穀物と工芸作物の増産なくしては、人民の食糧問題と軽工業用原料を解決することができません。また畜産業を發展させずには、役畜も、住民への食肉その他の畜産物供給も不可能です。われわれは、工業が社会主義建設において指導的役割を果たすと主張しています。これはまったく理にかなったことです。しかし、農業が工業の発展に追いついていけないならば、工業も伸びないばかりか、本来の指導的役割を十分に果たせなくなるということを銘記すべきです。工業の発展に即応して農業を發展させ、工業と農業を有機的に結びつけるならば、社会主義を順調に建設することができます。そのためわが党は農業の發展につねに深い関心を払っています。

戦後、わが国の農業は、非常に困難な状態にありました。しかしわが党の正しい政策と農民の愛国的労

働によって幾多の困難を克服し、三か年計画期間に農業ではかなりの成果が達成されました。戦争の大きな被害と戦後二年にわたって天災をこうむったにもかかわらず、昨年の穀物総収穫高は戦前の水準を回復したばかりか、それを上回りました。穀物生産の正常化によって、工芸作物生産と畜産業の発展条件もある程度ととのいました。これは大きな成果だといふべきです。

平安南道では、党と国家の農業政策と農産計画を誠実に実行しました。平安南道は一九五六年度の穀物生産計画を一二・五%も超過遂行しました。とくに大規模の灌漑工事を完工するとともに、多収穫作物であるとうもろこしの作付け面積を道内畑地総面積の五〇%以上確保しました。

こうして平安南道では、食糧の不足していた山間部の郡も含めてすべての郡が余裕食糧を持つようになりました。なかでも農業生産計画を各部門別に超過遂行した郡は价川郡、水田で最高収穫をあげた郡は文徳郡、畜産業で大きな成果をあげたのは陽徳郡でした。

党の路線と政策に立脚して農業生産計画を部門別に超過遂行し、組合の経済的基盤をかためた協同組合も少なくありません。价川郡の烽火農業協同組合、光明農業協同組合、安州郡の南七農業協同組合、船興里西山農業協同組合、元豊里北松農業協同組合、龍岡郡の玉桃農業協同組合、文徳郡の博飛農業協同組合、上八里龍南農業協同組合、順安郡の上陽農業協同組合は、多収穫と多角的副業生産で組合員の収入がもつとも多い組合です。この他にも徳川郡の済南農業協同組合は、養蚕業でもつとも優秀な成績をあげました。これは、平安南道党委員会と人民委員会、郡党委員会と郡人民委員会の幹部および協同組合管理幹部とすべての農民が努力した結果です。

わたしは朝鮮労働党中央委員会と共和国政府の名において、平安南道のすべての農民と農業協同組合員、

とくに優秀な農業協同組合の組合員に心から謝意を表します。

しかし、これらの成果は、まだ初歩的なものにすぎません。われわれはいまなお穀物不足のため、毎年かなりの食糧を輸入しています。綿花をはじめ軽工業用原料はほとんど輸入にたよっています。したがって、農業の発展は現在も依然として重要な問題となっています。

朝鮮労働党中央委員会十二月総会は、わが国の農業の実態を具体的に検討し、五か年計画の初年である一九五七年度の計画課題を示しました。この計画によれば、穀物生産をひきつづき伸ばして昨年度に比べて二・五%の増産を達成し、そのうちもみ米は少なくとも五万トンの増収を予定しています。工芸作物の生産を急速に増やし、綿花一・八倍、亜麻一・七倍、大麻一・五倍、黄色種葉たばこ一・四倍と、それぞれ昨年度の生産水準を上回ることが見込まれています。同時に畜産業も大幅な発展が予定されています。

一九五七年度の農業生産計画は決して容易に遂行できるものではありません。しかしわれわれは、この計画が十分実行可能な、確信のもてる計画であると考えています。

問題は各農業協同組合が仕事をいかに組織し、すべての農民をどのように増産闘争へ奮起させるかにかかっています。

きょうの会議も、平安南道内の農業協同組合と農民が一九五七年度の国家計画課題を遂行するばかりか、超過遂行するためにはいかにすべきかを討議するために開かれました。

多くの人が会議でりっぱな意見を出しました。

みなさんは今年、平安南道で国家計画を五万トン上回る穀物の増産を決意しました。このほかに他の農産物も国家計画を遂行するばかりか、超過遂行すると述べました。これは非常にりっぱなことです。要は